

公園緑地功労賞

公園緑地功労賞は、我が国における公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に多年従事して功労があり、かつ他の模範となる方に贈呈される賞で、平成4年に設けられました。国、地方公共団体及び公益法人等の職員として公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に20年以上携わり、年齢が65歳以上の方を選考の対象としています。

第33回公園緑地功労賞受賞者（敬称略・五十音順）

かとう しげあき

加藤 重明

元 一宮市まちづくり部部长

現 一般財団法人公園財団大野極楽寺公園管理事務所専門役

受賞理由

氏は、昭和63年、公園緑地担当課へ配属以来、公園行政に従事し、特に国営木曽三川公園三派川地区センターと連携する市営の総合公園、運動公園の計画・整備を担当し約92haの骨格的都市公園の形成に寄与した。併せて市民ボランティアと携わり、市民参加の森づくりやホテルも棲める環境づくりに尽力した。また退職後は、一般財団法人公園財団大野極楽寺公園管理事務所に勤務し現在に至るまで当公園外2公園の管理・運営に尽力した。

さとう ただつぐ

佐藤 忠継

元 一般財団法人日本造園修景協会常務理事兼事務局長

現 一般財団法人日本造園修景協会参与

受賞理由

氏は、昭和47年に日本住宅公団に入職し、ニュータウン・住宅団地の公園・緑化の計画設計・施工に携わり緑豊かな住宅地づくりに尽力した。また、2005年愛・地球博において巨大壁面緑化（バイオラング）による都市環境改善効果の実証実験に携わり、都市緑化技術の普及啓発に貢献した。さらに、産官学の造園人により構成される日本造園修景協会においては造園夏期大学等を企画・運営し、造園人の技術向上・研鑽に取り組んでいる。

たなか かずよし

田中 一善

元 青森市公園河川課副参事

現 青森市緑と花のまちづくり推進市民協議会常任理事及び緑花相談員

受賞理由

氏は、青森市の都市公園の主に植物管理及び植栽設計を行うとともに、平成15年に初版となる青森市緑の基本計画の策定のほか、公園愛護会の育成や花いっぱいまちづくり事業の立ち上げに尽力した。また、定年退職後も、青森市緑と花のまちづくり推進市民協議会常任理事及び緑花相談員として、今もお緑花普及業務などに日々尽力しており、青森市の豊かな地域づくりや良好な都市環境の創出に多大な貢献をしている功労者である。

つつい としお

筒井 利夫

現 公益財団法人都市緑化機構企画調査部参事

受賞理由

氏は、全国都市緑化フェアの開催にあたり、フェア開催を希望する自治体とともに開催の基本理念、公式行事の内容検討など多岐にわたる業務を昭和62年に都市緑化基金に奉職依頼長年にわたり尽力された。また、国際園芸博覧会の開催にあたり、屋外出展を担当する国土交通省とともに、出展内容、会期中の行事等について開催国との連絡・調整業務に尽力された。

なかやま ひろみ

中山 広美

元 一般財団法人公園財団あづみの公園管理センター副管理センター長

現 一般財団法人公園財団足立区立ベルモント公園足立地区マネージャー兼管理責任者

受賞理由

氏は、国営武蔵丘陵公園をはじめ全国の国営公園（海の中道、越後、あづみの、みちのく等）の管理運営に携わり、特にひたち海浜公園においては全国に先駆けてネモフィラやコキアなど大規模花修景の整備・管理に尽力され、植物管理において先導的な役割を果たし、集客の基礎を築いてきた。花修景等のノウハウを活かしながら地域との密接な連携に努め、公園を核とした地域の魅力づくりと都市公園の価値向上に大きく貢献している。

にしめ よしたか

西銘 宜孝

元 一般財団法人沖縄美ら島財団事務局長兼総合研究センター長

現 沖縄熱帯植物管理株式会社 代表取締役社長

受賞理由

氏は、長年に渡って国営沖縄記念公園の管理運営に携わり、沖縄の特殊な環境での花壇材料の選定やラン類の露地植栽手法の確立、モザイクカルチャーの導入、また地域貢献の一環でカンヒザクラの腐朽診断や九州・沖縄サミット会場の飾花に取り組むなど尽力された。その他、緑化樹の台風被害機構の解明、特殊緑化の事例調査、人工植栽基盤による海浜地緑化の技術開発、沖縄の植栽基盤のマニュアル化などに取り組み多大な功績を残した。

ひがしの ふとし

東野 太

元 神戸市建設局総務部担当課長（神戸市公園緑化協会へ派遣）

現 神戸市建設局公園部魅力創造課係長（技術職員再任用）

受賞理由

氏は、昭和57年に神戸市に奉職して以来、42年間に亘り、都市公園の整備や維持管理、市街地の緑化・飾花等に取り組み、今日の神戸市の緑豊かな街づくりに貢献した。特に、神戸を代表する都市公園である「布引公園」における「布引ハーブ園」の立ち上げから運営に携わるとともに、「神戸総合運動公園」の園長として管理運営に尽力するなど、多大な功績を残した。さらに、阪神淡路大震災後には、被災した都市公園の復旧整備に携わり、花と緑を通じた市民協働による街の復興に取り組むなど、神戸市の公園緑地行政における功績は多大である。

ひらやま みのる

平山 実

元 横浜市環境創造局みどりアップ推進部農政担当部長政策局基地対策担当兼務

現 株式会社田澤園 施設管理部

受賞理由

氏は、公園整備における住民参加型のワークショップ手法を早くから取り入れ、子どもたちや地域の意見を尊重した身近な公園づくりに尽力した。港北ニュータウンにおける緑道と歩専道等が混在するグリーンマトリックスにおいては、地域と合意を図り歩行者と自転車等が共存できる空間デザインを維持管理の立場から進めた。さらには、鉄道廃線跡を活用した汽車道や赤レンガ倉庫を保存活用した赤レンガパークなど、横浜らしい歴史を生かしたまちづくりとともに、小柴自然公園の米軍施設跡地時代における協議調整に尽力するなど、横浜市の公園緑地行政に大きく貢献した。

（役職は、令和7年3月31日現在）